

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム課  
 担当名: 県民サービス・システム共同化担当  
 内線: 2284 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B17	統合プラットフォーム推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子計算運営費	
事業期間	平成27年度～	根拠法	なし				宣言項目		
							分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上	
1 事業の概要				5 事業説明					
統合基盤(プラットフォーム)上に、大規模システムの集約化を進め、更なる経費の削減と平準化を図る。こうした集約化を実施することにより、個別の運用負担の軽減やセキュリティレベルの統一的な向上などを図る。 また、市町村システムの共同クラウド化に向けたパイロット事業を実施する。  (1) 統合基盤運用及びシステム集約 統合基盤への移行費用等の減 △41,080千円 (2) 市町村システム共同クラウド化 初期構築費用の減 △ 8,310千円				(1) 事業内容 ア 統合基盤運用及びシステム集約 (ア) 統合基盤への移行等 (イ) 統合基盤の運用 ・クラウドサービスの利用 ・回線費用 ・サポートデスク イ 市町村システム共同クラウド化 (ア) 共同クラウドの初期構築費用 (イ) 共同クラウドの運用 (2) 事業計画 ア 統合基盤運用及びシステム集約 (ア) クラウド環境に構築した統合基盤に順次、システムを移行する。 (イ) クラウドサービス事業者が提供する環境で統合基盤を運用する。 イ 市町村システム共同クラウド化 (ア) 市町村システムを統合基盤上に構築する。 (イ) 市町村システム共同クラウドを運用する。 (3) 事業効果 ・庁内情報システム運用経費の削減、平準化、管理負担の軽減 ・システムのセキュリティレベルの向上 ・データセンターの活用によるIT-BCPの向上 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 統合基盤の構築(情報システムの集約)を進めていく中で、システム運用業務の見直しを図ることで、職員の業務負担軽減を図る。また、クラウドサービスを利用することで、民間のクラウドサービス事業者が持つセキュリティ機能や災害時の対応力を活用する。 イ 市町村システムの共同クラウド化をすることで、人的・財政的負担を軽減し、セキュリティを向上する。 (5) 前年度からの主な変更点 市町村システム共同クラウド化事業の実施					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額		県 債							
決定額	△49,390	71,000						△120,390	458,013
現計額	507,403							507,403	